



会報

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

鶴岡ロータリー

第 4 3 3 号

1967.12.26(火) 小雪



千葉藤夫君

次週は 鈴木善作君

会報はご家族みんなでよみましょう

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや
② 0707.2838
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内 ② 5775

ロータリアンとしてのあなたの 資格を効果的に

Make Your Rotary
membership effective

10月	地区別 出席順位	65ク ラブ	52位	会員 62名	出席率 83.47%	前月 52 順位
-----	-------------	-----------	-----	-----------	---------------	----------------

出席報告

本日の出席 会 員 数 61名
出 席 数 41名
出 席 率 67.21%

前回の出席 前回出席率 81.97%
修正出席数 53名
確定出席率 86.89%

欠 席 者 本間君、松田君、佐藤(寅)君
荒明君、石井君、斎藤(信)君
高橋(栄)君、長谷川君、海東
君、佐藤(伊)君、津田君、林
君、三井(徹)君、鈴木(昭)君
辻君、平田貢君、三井(健)君
菅原君、金野君

メークアップ 安藤君、石井君、平田貢君
一鶴岡西RC

ソグ 奉仕の理想

リーダー三井(健)君

会長報告

先日19日のクリスマス・パーティーは皆様の御協力で盛大に終了しました。あらためて御礼を申し上げます。その時の歳末たすけあいの慈善鍋は、西クラブあわせて12,587円翌日NHKにお届けいたしました。

- NHK鶴岡放送局に毎年歳末たすけあい募金10,000円をお送りしました。
- 来年は9日が第1回の例会です。
- 鹿児島西クラブより連絡があり、インターアクトの3人の生徒が年末に鶴岡に雪をみにきたいとの事でしたが、3月に延ばす事になりました。
- 会員の皆様、良いお年をお迎え下さい。

張 君

- クリスマス家族会の写真が出来ております1枚200円でお渡しいたします。尚カラー写真は1月の例会でおみせいたします。

卓 話 戦時中の私の体験 三井健二君

今から24年も前の事で、私の体験した戦闘のもようをお話いたします。私はビルマのインパール作戦に約1年半参加いたしました。インパールの作戦は全く無謀な戦闘であったの一言につきるようです。あの戦闘の始まったのが19年3月6日この直前に軍司令官より3つの訓示がありました。

1つは、夜は寝るものと思ふべからず。2

つは、飯は食うものと思ふべからず。3つは飛行機は飛ぶものと思ふべからず。これは敵の飛行機でなく、日本の飛行機の事です。

このような訓示が軍司令官より発表されたわけです。昭和12年7月10日支那事変が始まったのですが、その時の司令官が、マレー攻略戦からビルマ作戦で武勲を建たて牟田口中将です。

当時の日本の国情は初戦のハワイ攻略、或はマレー沖の戦いで非常な戦果を上げ、国民も有頂天になっていたのです。その後ミッドウェー海戦以来日々不利な戦況が続いたのです。牟田口中将はどうしてインパール作戦をやらなければならなかったかと申し上げますと、自分は、この支那方面の作戦をかたづけなければならぬ義務があるんだと常々申しておりました。ビルマの北東部にレドという町があります。この町を拠点として、支那方面に援助物資を送っていたのです。まづこれを遮断する事が支那方面の作戦を終結する最良の道であると考えていたようです。ついに大本営もこれを見とめ、この作戦が許可されました。

昭和19年3月6日この時には、マレー攻略に牟田口中将が師団長をしておいた菊兵团がビルマに位置しインパールの北部には31師団、これが随分問題になった師団で、これが余目出身の佐藤幸徳中将のひきいる兵团でありました。パレルの要塞に向かって京都の15師団、それから南の方からは第33師団、この4師団で編成されていたのです。

インパールの攻略戦は31師団と15師団と33師団、この3つで攻撃したのですが、丁度ビルマの中央にイラワジ川があり、この支流にチンドイン川という川があり、この川も300メートルあります。これを渡河したのが19年3月6日この日は相当なる抵抗を予想して万全を期したのでありますが、実際に作戦したら、なんらの抵抗もなく無血渡河に成功したのであります。

これは後から考えてみますと、敵は相当後退していたのです。そうしてインパールの東方約20K位の処にパレルという要塞があったのです。この要塞が予想以上に堅固で、正面から攻撃した15師団がこれを落とす事が出来なかったのです。北から31師団、南から33師団兵团と攻撃したのですがどうしても落とすことが出来なかった。従来の戦闘であれば夜間

包囲攻撃が非常に得意であったが、近代戦の要素が変わり、イギリスの作戦は、これに對しうまい対策をこうじていたのです。

この作戦は包囲された方がむしろ強かったのです。昔は包囲されると食糧や弾薬等の補給が困難であったのですが、この度の作戦は包囲されている方は近くに飛行基地を持っていて、落下傘によって兵器や弾薬を投下していたのです。これが2ヶ月、3ヶ月とつづき日本軍は益々食糧弾薬の欠亡をきたし、反対に向こうは日に日に戦力を増強し、これがインパール作戦の大きな特徴だと思います。

31師団の1部は最初インパールの北方約100Kの処にコヒマという町がありますがこのコヒマを占領しましたが、戦車、飛行機の爆撃により占領され、こうして次から次と人命を失っていったのです。師団の兵力の半分はここで失ったのです。

各自2週間位の食糧を携行したのみで、全然補充のみこみがないし師団長も仕方がないというので、軍司令官の命令通りにうごいたら、部下が餓死するばかりだし、とにかく食糧のあるところまで下がるうというので、下がって来たが目的の地点には食糧はなく6月から雨期に入り、約6ヶ月間位雨が降ります。雨期に入ると道路が目茶目茶にこわれ車は全くうごきません。

私達は方面軍直轄の車輛部隊の使命を果たすことが出来なかった。一時は象を借りて物資を輸送したり、或いは舟を借りて前戦に食糧弾薬を送ったりしましたが、トラックで輸送するような具合にもいかず第一線の兵隊には申し訳なく思いました。

前に申した3つの訓示も最もな事で、僅か数機の飛行機がラングンの飛行場にあるだけで、私も作戦間は1回も見なかったのです。マンダレーに下って来て、軍司令官の護衛の為に3機が飛んだというのが1回で、従って向こうの陸、空共に豊富なものに対して全く勝目のないものであるということが作戦開始前から、はっきりわかりました。

幹事報告 佐藤 忠 君

① 例会時間臨時変更
村上RC 1月11日 午後4.30

② チャーターナイト案内
佐世保東RC 3月17日
佐世保市民会館

スマイル 張君似顔掲載され